様式１０（第２０条関係）　別紙１

国際標準化活動の実績（決算書）

１　助成対象経費等の内訳

|  |
| --- |
| 国際標準化活動支援助成金 |
| 助成対象経費の計画額（令和○年度） | 助成対象経費の実績額（令和○年度） |
| 円 | 円 |
| 助成率 |  |
| 50.00％ |
| 令和〇年度 費目別収支決算（状況）表 |
|  | Ⅰ　旅費 | Ⅱ　人件費 | Ⅲ　物品費 | Ⅳ　その他 | 合計 |
| 助成対象経費の計画額 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| ①助成対象経費の実績額 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 助成金の算定の基となる助成対象経費※１ |  | 円 |
| 助成金見込額※２ |  | 円 |
| 助成事業費（①） |  | 円 |
| 収入※３ |
| 助成金※４ | 自己負担 | その他 | 合計 |
| 円 | 円 | 円 | 円 |
| 備考欄 |  |

※１ 助成対象経費の計画額（合計）と助成対象経費の実績額（合計）の小さい方の金額を記載すること。

※２ 助成金の算定の基となる助成対象経費に助成率（50.00%）を乗じ、千円未満の端数を切り捨てた額を記載すること。

※３ 国際標準化活動の実施に際して投資等を受けた場合には「自己負担」の欄に計上するとともに、その内訳を備考欄に記載すること。また、収入を得た場合や取引相手先からの納入遅延金が発生した場合には、収入の欄における「その他」に計上すること。

※４ 上記「助成金見込額」の金額を記載すること。